分担金・拠出金の名称	国際熱帯木材機関(ITTO)分担金	平成28年度 予算額	107,567千円	総合 評価	C
拠出先の国際機関名	国際熱帯木材機関(ITTO)				
国際機関の概要	<p>(1)ITTOは、「1983年国際熱帯木材協定」(1985年発効)に基づき1986年に設立された我が国(横浜)に本部を有する国際機関。 (2)熱帯林の持続可能な経営を促進し、合法的な伐採が行われた森林からの熱帯木材の国際貿易を発展させるため、木材生産国と木材消費国との間の国際協力を促進。 (3)「1994年国際熱帯木材協定」を継承する「2006年国際熱帯木材協定」が2006年1月に採択され、2011年12月7日に発効した。 (4)「2006年国際熱帯木材協定」の加盟国は、生産国34か国、消費国37か国の計71か国及び欧州連合となっている。</p>				
評価基準	達成状況				
1. 当該機関等の専門分野における影響力・貢献	ITTOは、熱帯木材分野に特化した唯一の国際機関であり、その専門性を活かし、熱帯林経営に関するガイドライン等の作成、また、熱帯林保全の推進に関する専門的な定期刊行物の発行(例:熱帯林資源の保全と持続可能な利用を促進するITTOニュースレターは年4回発行、160か国以上、15,000件の団体・個人に無償配布)しており、加盟国をはじめとする関係国の取組に大きく貢献している。				
2. 我が国重要外交課題遂行における当該機関等の有用性(意思決定における我が国のプレゼンスを含む)	<p>我が国の重要外交課題の一つである地球環境の保全に関し、ITTOは、右目標達成のための重要な要素の一つである熱帯林保全の推進のため、持続可能な森林経営(SFM)の促進、森林減少及び森林劣化の抑制を目的としたプロジェクト等を熱帯木材生産国を対象に実施している。我が国がITTO本部のホスト国としてITTOの活動を支援していくことは、我が国外交政策に合致するだけでなく、国際社会の一員として、重要な環境課題に積極的に取り組んでいるとの評価にもつながる。</p> <p>我が国は、ITTOの意思決定を行う理事会において加盟国に配分される票について、主要木材消費国として、EU(加盟国合計)、中国に次ぐ票数を有しており、他の主要加盟国やITTO事務局との意見交換や協議を随時実施する等、ITTOの活動に我が国外交政策が可能な限り反映されるよう、ホスト国としてのプレゼンスの確保に努めている。</p> <p>また、2016年に成立した「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」においても、政府には違法伐採の抑止等のための国際協力の推進が求められており、また違法伐採対策としてのSFM促進の重要性は、G7伊勢志摩サミット首脳宣言においても再認識されているところ、ITTOを通じた活動は、我が国外交政策のみならず国際的な重要課題に効果的に対応する観点からも有用である。</p>				
3. 当該機関等の組織・財政マネジメント	<p>年1回開催される理事会において、組織運営、会計監査報告等が議論される。我が国はこれまで第1回から第51回の全理事会に参加の上、積極的に議論を行い、適切な機関の運営に向けた改善等の協議を行っている。</p> <p>なお、我が国を含むドナー各国が過去に行った任意拠出について、実際に支出されるまでの間、一時的に事務局に預託されていた資金の一部に、過去の不適切な運用により損失が発生したことが判明しており、現在、再発防止に向けて加盟国間で議論がなされているところ。このため、少なくとも再発防止策の実施によりITTOの内部統制が抜本的に改善されるまで、我が国として新規の任意拠出は行わないこととし、ITTOへの任意拠出に係る予算要求も行わないこととする。</p>				
4. 当該機関等における邦人職員の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局職員数25名、うち邦人12名(邦人職員数は前年同)、うち邦人幹部職員(事務局次長)1名(邦人幹部職員数は前年同))。 ・事務局幹部に対し邦人職員数の増強に向け、直接働きかけや情報収集を行っている。 				
5. 我が国拠出の執行管理、PDCAサイクルの確保	<p>以下のPDCAを確保している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①計画段階(Plan): 我が国を含め、年1回行われる理事会において、全体計画を予算も含めて検討、決定する。 ②実施段階(Do): 事務局において、上記決定に基づき、計画を実施する。 ③評価段階(Check): 報告書・理事会報告等に基づき運営・活動を評価する。 ④フォローアップ(Act): 理事会等各種会合を通じて適宜改善を提案する。 				
担当課・室名	国際協力局地球環境課				